

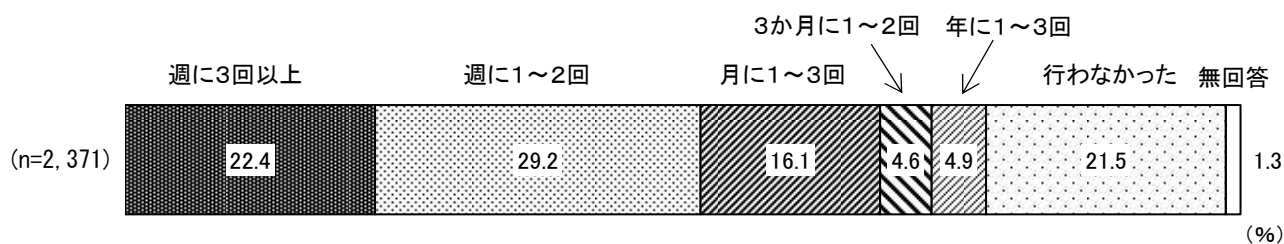
16. スポーツ

(1) この1年間に行ったスポーツや運動の回数

◎「週に1～2回」がほぼ3割、「週に3回以上」が2割を超える

問53 あなたがこの1年間にスポーツや運動（ウォーキングや軽い体操、介護予防のためのトレーニング、様々なレクリエーションなどを含む）を行った回数はどのくらいですか。（○は1つ）

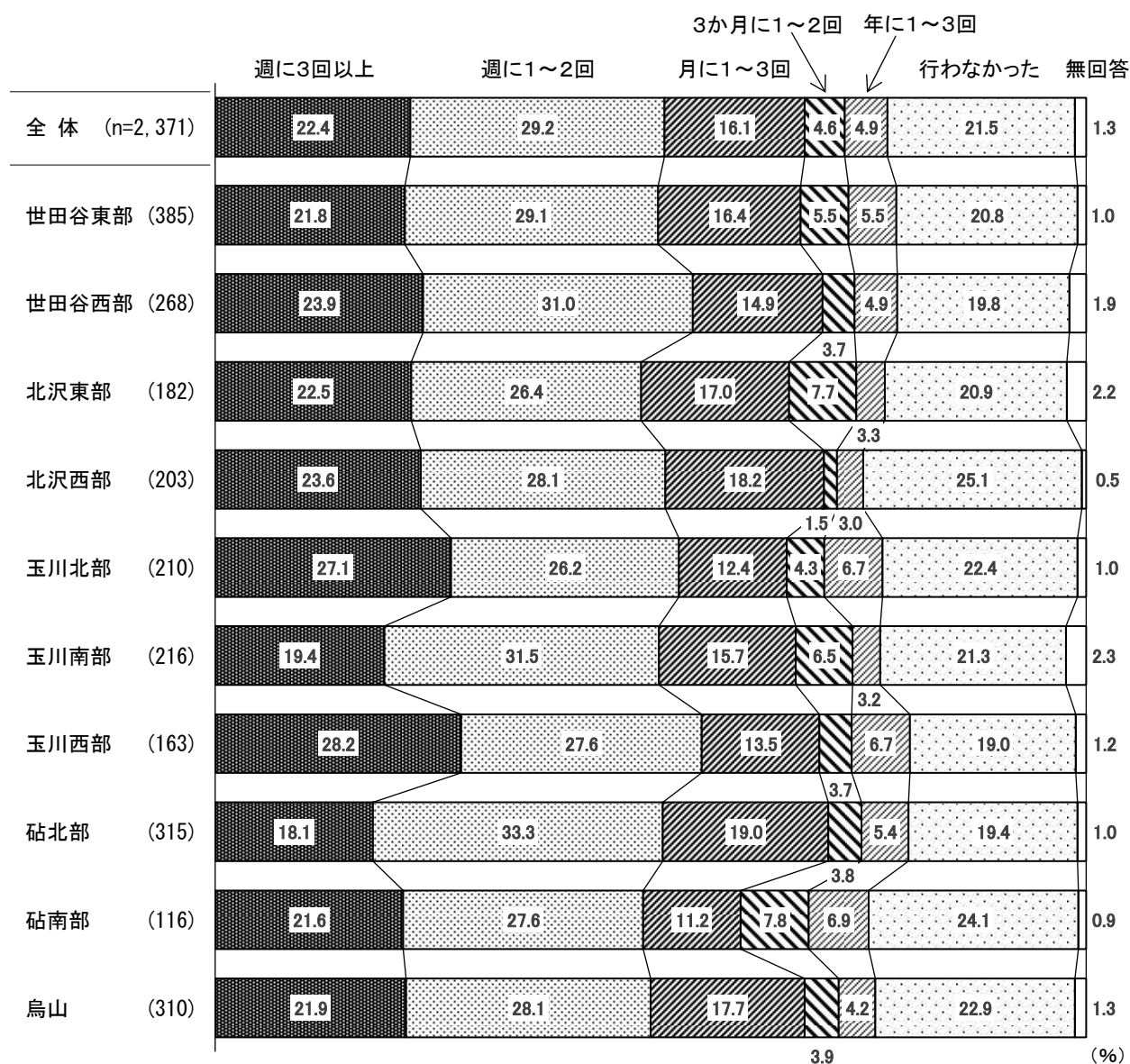
図16-1-1



<調査結果>

この1年間に行ったスポーツや運動の回数を聞いたところ、「週に1～2回」（29.2%）がほぼ3割で最も高く、以下、「週に3回以上」（22.4%）、「月に1～3回」（16.1%）などと続く。「行わなかった」（21.5%）は2割を超えている。（図16-1-1）

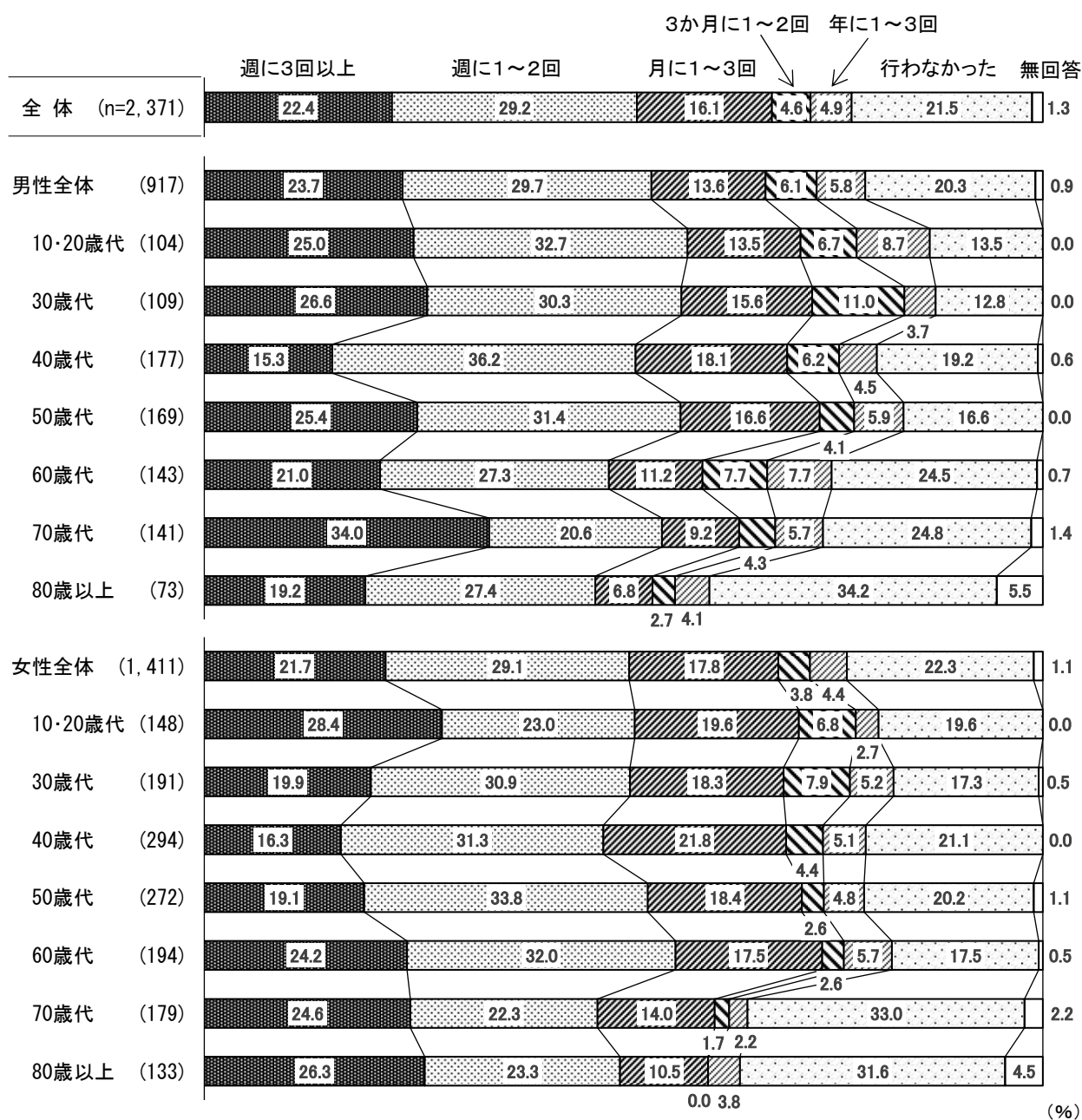
図16-1-2 この1年間に行ったスポーツや運動の回数（地域別）



〈調査結果〉

地域別にみると、「週に3回以上」は玉川西部と玉川北部で3割近くとなっている。週に1回以上（「週に3回以上」＋「週に1～2回」）は玉川西部と世田谷西部で5割半ば、玉川北部、北沢西部、砧北部で5割を超えている。月に1回以上（「週に3回以上」＋「週に1～2回」＋「月に1～3回」）は砧南部が6割で他の地域より低い。（図16-1-2）

図16-1-3 この1年間に行ったスポーツや運動の回数（性・年齢別）



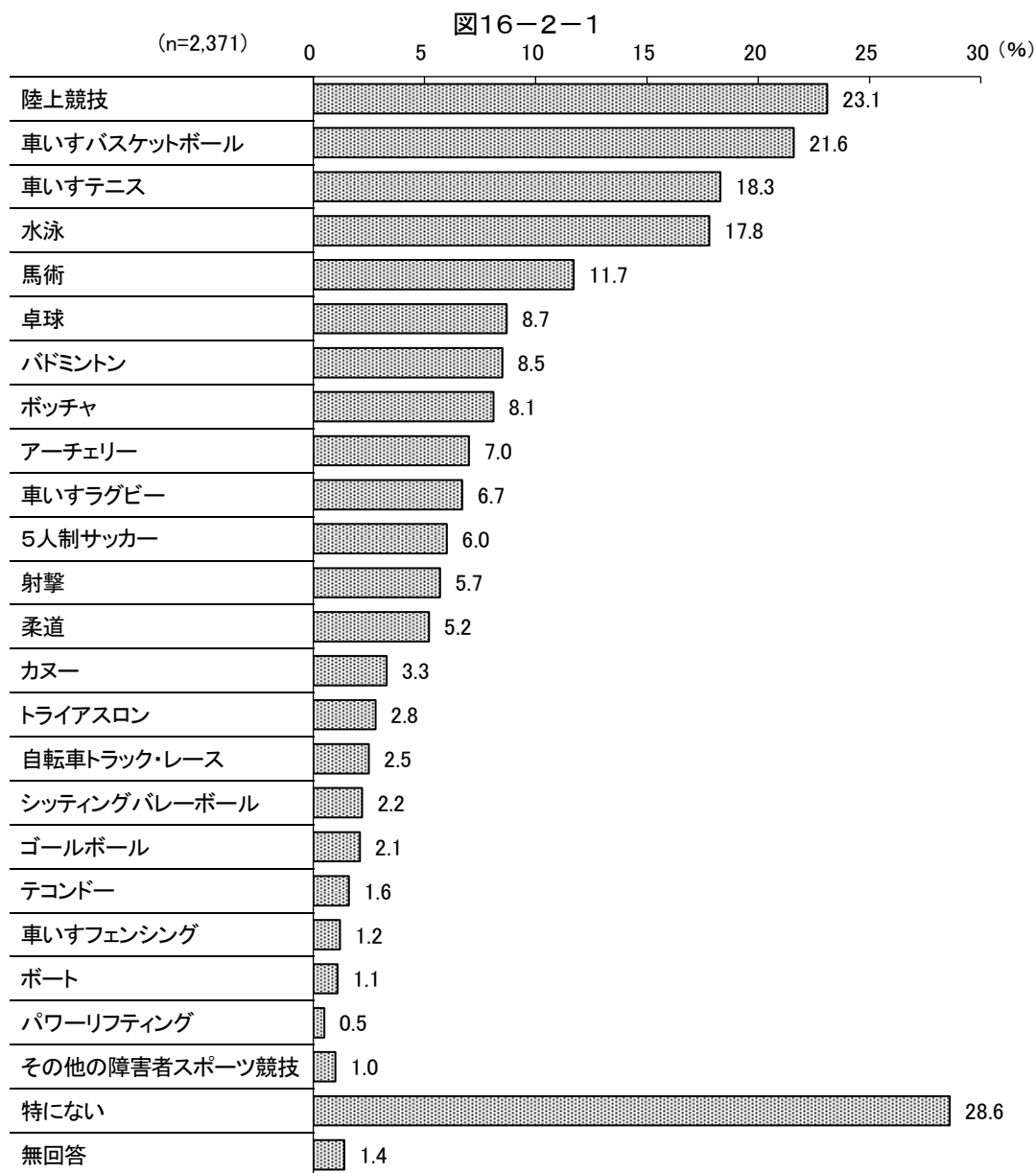
〈調査結果〉

性・年齢別にみると、「週に3回以上」は男性の70歳代で3割半ば、男性の30歳代と女性の10・20歳代で3割近くとなっている。週に1回以上は男性の10・20歳代、30歳代、50歳代が6割近く、男性の70歳代と女性の60歳代で5割半ば、月に1回以上は男性の50歳代以下、女性の60歳代以下で7割前後となっている。（図16-1-3）

(2) 観戦またはやってみたい障害者スポーツ

◎「陸上競技」と「車いすバスケットボール」が2割を超える

問54 あなたが観戦（会場での観戦、テレビ観戦等）してみたい、またはやってみたい（イベント会場での体験を含む）と思う障害者スポーツはどれですか。（〇は3つまで）



〈調査結果〉

観戦またはやってみたい障害者スポーツについて聞いたところ、「陸上競技」（23.1%）と「車いすバスケットボール」（21.6%）が2割を超えている。以下、「車いすテニス」（18.3%）、「水泳」（17.8%）、「馬術」（11.7%）などと続く。（図16-2-1）

表16-2-1 観戦またはやってみたい障害者スポーツ(性・年齢別)

(%)

	n	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
全体	2,371	陸上競技 23.1	車いすバスケットボール 21.6	車いすテニス 18.3	水泳 17.8	馬術 11.7	卓球 8.7	バドミントン 8.5	ボッチャ 8.1	アーチェリー 7.0	車いすラグビー 6.7
男性全体	917	陸上競技 23.6	車いすバスケットボール 19.7	車いすテニス 15.6	水泳 14.0	卓球 8.7	5人制サッカー 8.6	馬術/車いすラグビー 8.3	柔道 8.2	バドミントン 8.0	
10・20歳代	104	車いすバスケットボール 20.2	射撃 17.3	5人制サッカー 16.3	車いすテニス 15.4	バドミントン 12.5	ボッチャ/水泳 11.5		アーチェリー/陸上競技 10.6		卓球 7.7
30歳代	109	陸上競技 24.8	車いすバスケットボール 22.0	5人制サッカー 17.4	水泳/車いすテニス 12.8		ボッチャ/射撃 9.2		アーチェリー/馬術 8.3		柔道 6.4
40歳代	177	車いすバスケットボール 28.2	陸上競技 24.3	車いすテニス 17.5	水泳 14.1	車いすラグビー 11.9	5人制サッカー 11.3	バドミントン 10.2	柔道 9.6	ボッチャ 9.0	馬術 8.5
50歳代	169	陸上競技 24.9	車いすバスケットボール 19.5	車いすテニス 13.6	馬術 13.0	車いすラグビー 12.4	柔道/水泳 10.7		卓球 8.3	射撃 7.1	アーチェリー/5人制サッカー 5.9
60歳代	143	陸上競技 25.2	車いすバスケットボール 20.3	水泳/車いすテニス 17.5		卓球 12.6	車いすラグビー 11.2	バドミントン 9.8	射撃 7.7	馬術/柔道 7.0	
70歳代	141	陸上競技 27.7	水泳 15.6	車いすテニス 14.9	車いすバスケットボール 13.5	柔道/卓球 8.5		馬術/車いすラグビー 7.1		アーチェリー/バドミントン 6.4	
80歳以上	73	陸上競技 23.3	卓球/車いすテニス 17.8		水泳 16.4	柔道 12.3	バドミントン 11.0	車いすバスケットボール 6.8	馬術 5.5	アーチェリー/自転車トラック・レース/車いすラグビー 4.1	
女性全体	1,411	車いすバスケットボール 23.0	陸上競技 22.9	水泳 20.5	車いすテニス 20.2	馬術 14.1	ボッチャ 9.4	バドミントン 9.0	卓球 8.9	アーチェリー 7.3	車いすラグビー 5.6
10・20歳代	148	車いすバスケットボール 27.7	陸上競技 22.3	水泳 16.2	車いすテニス 14.9	馬術 14.2	バドミントン 11.5	ボッチャ/射撃 10.1		アーチェリー 8.1	5人制サッカー 6.1
30歳代	191	車いすバスケットボール 28.8	陸上競技 27.7	水泳 25.1	馬術 18.8	車いすテニス 15.2	バドミントン 12.0	アーチェリー/ボッチャ 7.3		卓球 5.8	カヌー/車いすラグビー 5.2
40歳代	294	車いすバスケットボール 27.9	陸上競技 26.2	車いすテニス 23.1	水泳 20.1	馬術 16.3	ボッチャ 12.2	車いすラグビー 8.8	バドミントン 7.8	アーチェリー/5人制サッカー 7.1	
50歳代	272	車いすテニス 26.5	車いすバスケットボール 24.6	陸上競技 21.7	水泳 19.9	馬術 13.6	ボッチャ 11.4	アーチェリー 10.3	卓球 8.5	バドミントン 8.1	車いすラグビー 5.5
60歳代	194	車いすテニス 28.9	車いすバスケットボール 25.3	陸上競技 22.2	水泳 18.0	馬術 15.5	バドミントン 11.3	卓球 10.8	ボッチャ 9.3	アーチェリー 8.2	車いすラグビー 5.2
70歳代	179	陸上競技 25.1	水泳 22.3	車いすテニス 15.1	卓球 14.5	車いすバスケットボール 12.3	馬術 8.9	ボッチャ 6.7	バドミントン 5.6	アーチェリー 5.0	カヌー/車いすラグビー 3.4
80歳以上	133	水泳 21.8	卓球 12.8	陸上競技 9.8	馬術/車いすテニス 8.3		バドミントン 7.5	車いすバスケットボール 6.8	ボッチャ 4.5	柔道/車いすラグビー 3.8	

〈調査結果〉

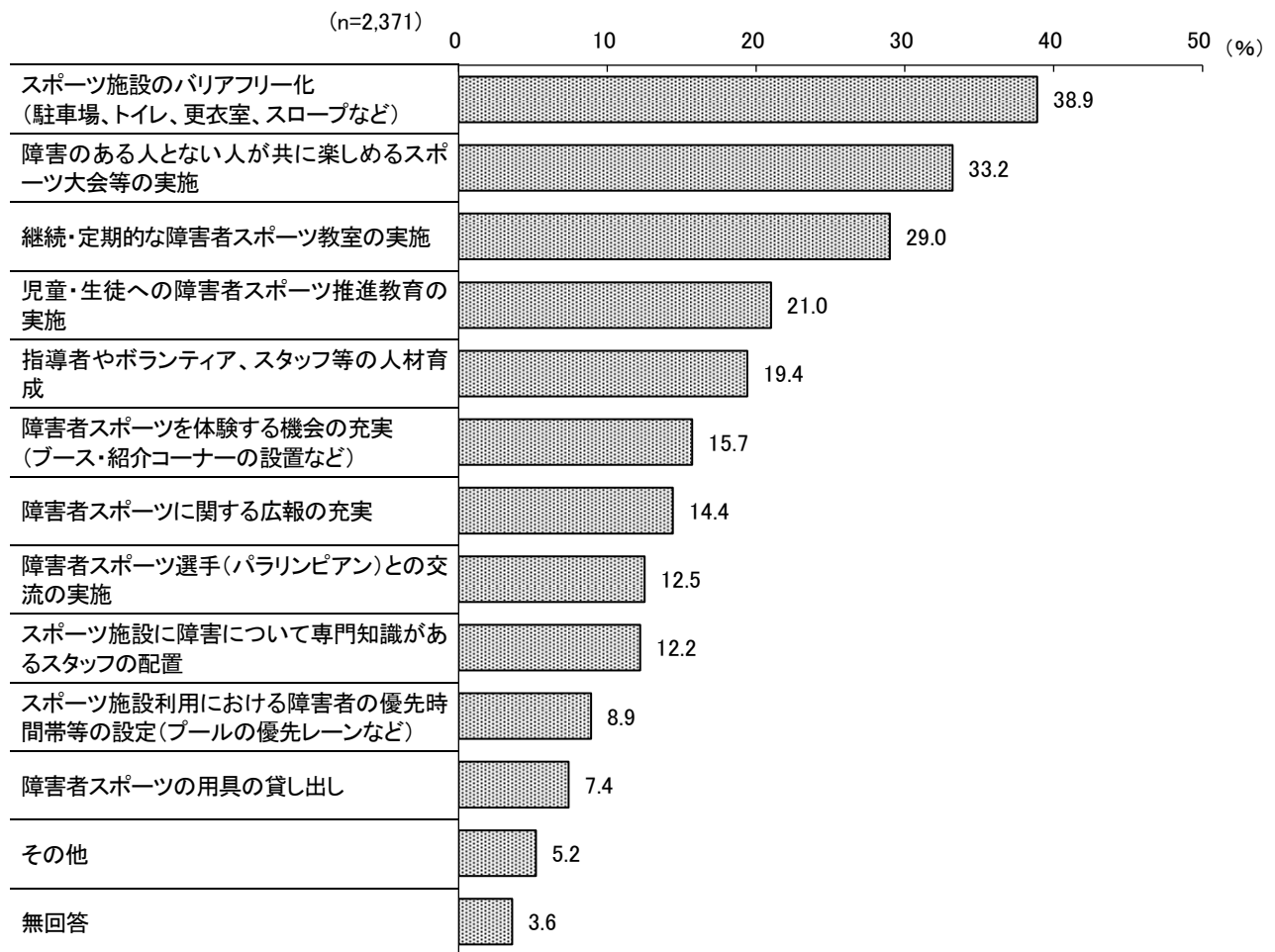
性・年齢別にみると、「陸上競技」は男性の30歳代以上、女性の70歳代以下で2割台となっている。「車いすバスケットボール」は男女とも60歳代以下で上位2位以内に挙げられている。「車いすテニス」は女性の50歳代と60歳代が3割近くで1位、「水泳」は女性の80歳以上が2割を超えて1位となっている。(表16-2-1)

(3) 障害者スポーツ推進のための取組み

◎「スポーツ施設のバリアフリー化」が4割近く、「障害のある人とない人が共に楽しめるスポーツ大会等の実施」が3割を超える

問55 あなたは、障害者スポーツの推進に向け、どのような取組みを進めるべきだと思いますか。
(○は3つまで)

図16-3-1



<調査結果>

障害者スポーツ推進のための取組みについて聞いたところ、「スポーツ施設のバリアフリー化」(38.9%)が4割近くで最も高く、以下、「障害のある人とない人が共に楽しめるスポーツ大会等の実施」(33.2%)、「継続・定期的な障害者スポーツ教室の実施」(29.0%)、「児童・生徒への障害者スポーツ推進教育の実施」(21.0%)、「指導者やボランティア、スタッフ等の人材育成」(19.4%)などと続く。

(図16-3-1)

表16-3-1 障害者スポーツ推進のための取組み(性・年齢別)

(%)

	n	継続・定期的な障害者スポーツ教室の実施	障害のある人となない人が共に楽しめるスポーツ大会等の実施	障害者スポーツを体験する機会充実(ブラス・紹介コーナーの設置など)	障害者スポーツ選手(パラリンピアン)との交流の実施	障害者スポーツに関する広報の充実	障害者スポーツの用具の貸し出し	スポーツ施設のバリアフリー化(駐車場、トイレ、更衣室、スロープなど)	スポーツ施設の配置	指導者やボランティア、スタッフ等の人材育成	スポーツ施設利用における障害者の優先時間帯の設定(プールの優先レーンなど)	児童・生徒への障害者スポーツ推進教育の実施	その他	無回答	
全体	2,371	29.0	33.2	15.7	12.5	14.4	7.4	38.9	12.2	19.4	8.9	21.0	5.2	3.6	
性・年齢別	男性全体	917	27.6	32.8	16.1	12.4	16.5	8.2	35.3	10.3	17.7	8.4	17.4	7.2	3.8
	10・20歳代	104	21.2	26.0	22.1	13.5	18.3	13.5	44.2	6.7	14.4	5.8	14.4	5.8	-
	30歳代	109	25.7	36.7	18.3	18.3	12.8	8.3	38.5	10.1	13.8	3.7	22.9	3.7	4.6
	40歳代	177	28.8	38.4	15.8	17.5	11.3	9.6	36.7	9.0	16.4	6.2	21.5	4.5	1.7
	50歳代	169	28.4	33.1	13.6	11.2	15.4	4.7	39.6	12.4	26.6	11.8	12.4	7.1	2.4
	60歳代	143	28.7	34.3	21.7	10.5	19.6	7.0	35.7	11.2	15.4	10.5	13.3	7.0	2.8
	70歳代	141	30.5	26.2	13.5	7.8	15.6	8.5	27.7	9.2	20.6	11.3	19.9	12.8	6.4
	80歳以上	73	26.0	31.5	5.5	5.5	30.1	5.5	19.2	13.7	9.6	6.8	19.2	11.0	13.7
	女性全体	1,411	29.9	33.7	15.7	12.7	13.4	6.9	41.7	13.3	20.6	9.3	23.5	3.9	2.8
	10・20歳代	148	34.5	41.9	20.9	14.2	16.2	6.8	42.6	9.5	13.5	6.1	17.6	2.0	0.7
	30歳代	191	28.8	37.2	23.0	15.2	9.9	9.4	41.9	12.0	10.5	11.5	28.8	3.1	0.5
	40歳代	294	25.5	35.7	21.1	20.1	11.2	8.5	43.2	10.2	18.0	7.5	29.6	2.0	0.3
	50歳代	272	37.9	29.0	13.2	11.0	18.0	7.4	48.5	14.3	25.7	10.7	19.5	3.3	1.5
	60歳代	194	35.6	30.4	11.3	9.3	14.9	4.6	43.3	16.5	26.3	5.7	22.7	3.1	2.1
70歳代	179	20.7	29.6	10.6	10.1	15.1	4.5	38.0	16.2	26.8	14.0	24.6	7.8	5.0	
80歳以上	133	24.1	35.3	5.3	3.0	6.0	6.0	25.6	15.8	21.8	9.8	17.3	8.3	14.3	

<調査結果>

性・年齢別にみると、「スポーツ施設のバリアフリー化」は男性より女性の方が高く、女性の50歳代で5割近く、女性の10・20歳代～40歳代と60歳代で4割を超えている。一方、男性の10・20歳代では4割半ばで他の年代より高くなっている。「障害のある人となない人が共に楽しめるスポーツ大会等の実施」は女性の10・20歳代が4割を超え、男性の30歳代と40歳代、女性の30歳代で4割近くとなっている。「継続・定期的な障害者スポーツ教室の実施」は女性の50歳代が4割近く、女性の10・20歳代と60歳代が3割半ばとなっている。(表16-3-1)

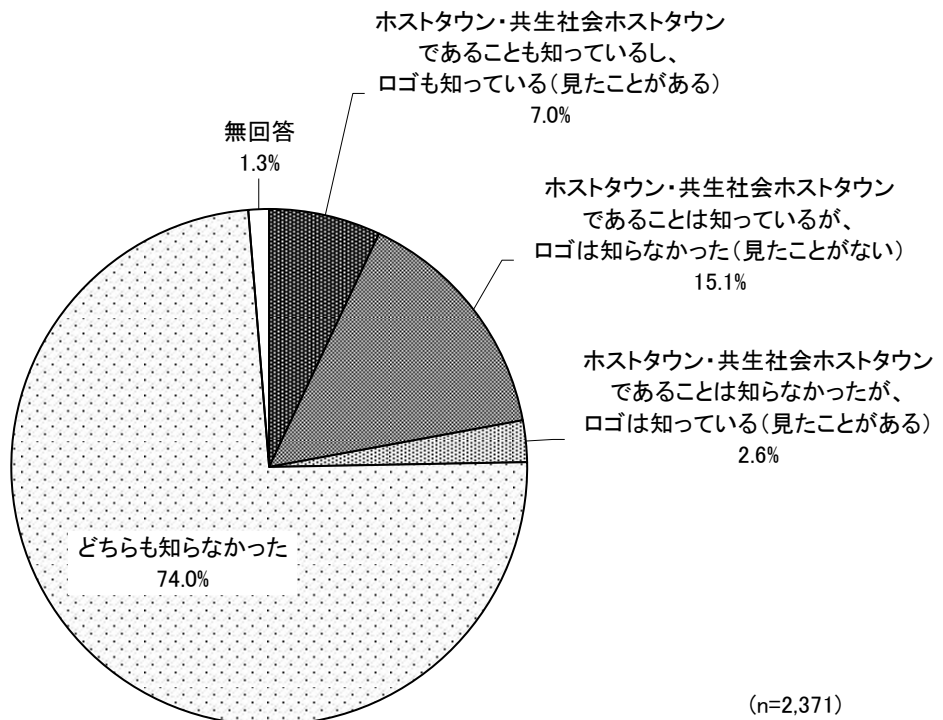
(4) ホストタウン・共生社会ホストタウンの認知度

◎「どちらも知らなかった」が7割半ば

問56 あなたは、世田谷区がアメリカ合衆国のホストタウン・共生社会ホストタウンであることについて、上記のロゴマークを含めて知っていますか。(〇は1つ)



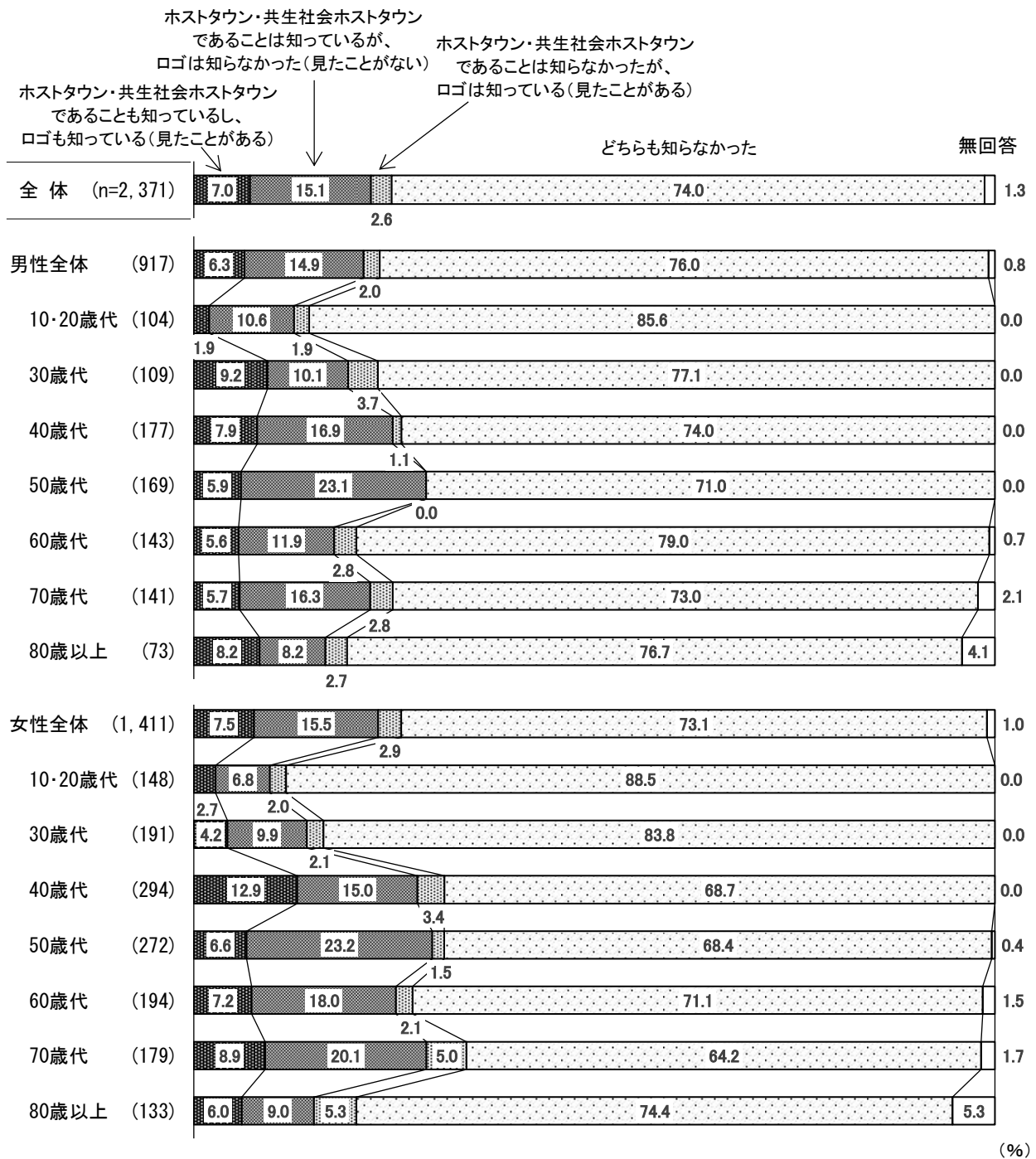
図16-4-1



〈調査結果〉

ホストタウン・共生社会ホストタウンの認知度を聞いたところ、「どちらも知らなかった」(74.0%)が7割半ばとなっている。「ホストタウン・共生社会ホストタウンであることは知っているが、ロゴは知らなかった(見たことがない)」(15.1%)が1割半ばで、「ホストタウン・共生社会ホストタウンであることも知っているし、ロゴも知っている(見たことがある)」(7.0%)と合わせるとホストタウン・共生社会ホストタウンの認知度(22.1%)は2割を超えている。(図16-4-1)

図16-4-2 ホストタウン・共生社会ホストタウンの認知度(性・年齢別)



〈調査結果〉

性・年齢別にみると、ホストタウン・共生社会ホストタウンの認知度は女性の50歳代が3割、男性の50歳代と女性の70歳代がほぼ3割、女性の40歳代が3割近くとなっている。一方、「どちらも知らなかった」は男女とも10・20歳代が最も高く、女性が9割近く、男性が8割半ばとなっている。

(図16-4-2)